

身近な防災対策

東大阪市 危機管理室

1 身近な物が役立つ

(1) 災害時の水の知恵

①普段は、自由に利用できます。

②災害時は、貴重で必要不可欠となります。

1) 残り湯

お風呂の残り湯を捨てずに、ため置きします。

(いざという時の水の確保)

初期消火用、トイレ用、洗濯用などに使用できます

2) 有効利用 (簡単ろ過)

風呂の水をろ過し、洗い物に利用

(方法) 1) 材料 : ペットボトル、ティッシュペーパー、

カッターナイフ

2) 作り方 ①ペットボトルの下から2/3の部分を

切り取ります

②6枚重ねしたティッシュペーパーを

2つ折にし、筒状に巻いていきます

③筒状にしたティッシュペーパーをペ

ットボトルの口に詰めます

(2) 台所用品を活用しよう

1) ゴミ袋で水を運ぶ

ゴミ袋を2枚重ねにし、中に水を入れ持ち運びします

(バケツ代わりになる)

* バケツで水を運ぶより水がこぼれる心配が少なく持ち運び
しやすい

2) ラップ (皿を洗わない水の節約法)

盛り付けの際、食用用ラップを皿の上に敷きます。食べ終
わったらラップをとります。

(災害時の水不足の際、皿を洗わずにすみます。)

3) ほのぼの灯り

ガスや電気が止まった時、ご飯も炊けず、夜は真っ暗

サラダ油の「ほのぼの灯り」が活躍。万一転倒しても灯心
の炎は消えます。

(方法) 1) 材料: 空きびん、サラダ油、アルミホイル、

ティッシュペーパー

2) 作り方: 別図を参照

4) 水切りネット

水切りネットの中に石けんを入れ使用します。よく泡立ちます。

(手洗い、洗濯に使用できます。)

5) 透明ゴミ袋

煙の害から逃れることができます。(1分以内で有効です。)

火災の際、空気を入れた透明ゴミ袋を頭からすっぽりかぶります。

6) アルミホイル

調理鍋の代わりになります。ほのぼの灯りの材料にもなります。

2 備えたい日用品 (携帯5つ道具)

① 爪きり : とげ抜き代わりにもなります

② 安全ピン : 服の破れを留めたり、物を一つにまとめることにも使用できます

③ 笛 : 災害時に自分の居場所をより遠くまで知らせることができます

④ 懐中電灯 : 停電時に使用します

⑤ ドライバー : 地震の揺れで部屋に閉じ込められた時、ドライバーで扉の留め具をはずし、部屋から脱出します

3 常備したい日用品

① かなづち : マンションの窓ガラスは厚みがあり、なかなか割れません。かなづちでガラスを叩き割ることに役立ちます

② 大き目のばんそうこう : ケガをしたとき、傷口を覆います。
ばい菌から守ります

③ シーツ : シーツを包帯代わり（10cmほどに引き裂く）
あて布に使用します

④ 乾電池 : ラジオ、懐中電灯用として必要です

4 100円ショップでも・・・

非常持ち出し袋は、持ち出しやすい場所（枕元や玄関など）に用意します。

非常持ち出し袋の中身は、水、食料品、乾電池、懐中電灯、ライター、軍手、ティッシュ、ポリ袋、ばんそうこう、包帯、

ロープ、貴重品などです。

* 非常持ち出し袋は、両手が使えるようにリュックサックの方が良いです

100円ショップで購入できるかもしれない非常持ち出し品

- ①食料品 水、カップめんなど
- ②日用品 乾電池、懐中電灯、ドライバー、ライター、
軍手、ラジオ、ロープ
- ③衛生用品 ティッシュ、ポリ袋、ばんそうこう、包帯、
トゲ抜き、紙コップ、ソーイングセット、
ウエットティッシュ
- ④衣類 雨カッパ、下着

5 家庭の防災会議

家族全員で、地震など災害が発生した場合、どのような行動をするか事前に話し合っておきましょう。

(具体例)

- ① 家の中で一番安全な場所はどこですか。
- ② 避難場所はどこですか。どの道を通りますか。

- ③ 家族が離れ離れになったときの連絡はどうしますか。
- ④ 大地震が昼や夜に発生した場合、どのような行動をとりますか。
- ⑤ 非常持ち出し袋は、誰が持っててですか。

6 家族の安否確認方法

NTT「災害用伝言ダイヤル171」を活用しましょう。

* 忘れてイナイ（171）？ などと覚えてください。